

参考資料

2023年度学部生論文コンクール

応募論文の基本情報

一般社団法人エビデンス共創機構

応募論文(総数26)の基本情報の集計結果

- 所属大学 ※五十音順
 - 青山学院大学、大阪大学、大阪市立大学、京都大学、慶應義塾大学、東京大学、東洋大学、一橋大学、早稲田大学
- 研究分野 ※数が多い順。括弧内は応募数。以下同様。
 - ジェンダー(5)、環境(4)、健康(4)、政策関連(3)、家族(2)、災害(2)、ヘイトスピーチ/クライム(2)、教育(1)、観光(1)、国際関係(1)、選挙(1)、難民(1)、貿易(1) ※複数の分野をまたぐケースがあるため、合計が26にならない
- 研究対象国
 - 日本(18)、米国(2)、バングラデシュ(2)、多数の国(2)、韓国(1)、ザンビア(1)

応募論文(総数26)の基本情報の集計結果

- 主な分析手法

- 1時点の重回帰分析(9, RCTを除く)、パネルデータ分析(8)、RCT(5)、操作変数法(2)、差の差の分析(1)、イベントスタディ分析(1)、回帰不連続デザイン(1)、傾向スコアを用いた分析(1)、合成対照群法(1)、機械学習(1)、テキスト分析(1)

※一つの論文で複数の手法を用いているケースがあるため、合計が26にならない

- 著者の人数

- 1人(12)、3人(10)、2人(2)、4人(2)

- 論文の言語

- 日本語(22)、英語(4)

